

ライフデザインとキャリアプランの きめ細やかな対策を

理事長 伊藤 大海 さん

住所：由布市庄内町西長宝 1433-1
業種：社会福祉／従業員数：180人(男性65人・女性115人)

● 法人内に保育所や有料老人ホーム、デイサービスセンターがあることもふまえ、産後や介護中の職員でも働きやすい環境整備に取り組みます。
● 女性の管理者登用もすでに取り組んでいます。今後はさらにその比率向上を目指し、女性が輝くことのできる職場づくりを実現させます。



育児休暇の障壁への対策

『庄内厚生館』では由布市庄内町を中心に、大きく分けて障がい部門、介護部門、児童部門、生活困窮部門という4つの部門における施設を展開しています。

3〜4年前までは結婚や出産に限らず離職者が年間で1割近くいたのですが、できるだけ減らせるよう平成30年に企画室を設けて職員アンケートを実施。意見をもとに対策を立てたことで、徐々に継続雇用が定着してきました。

具体的な要望として大きかったのは、育児休業取得時の給与の障壁です。その収入減対策として、13%の手当を新設。また人手不足により

育児の代替職員を確保するのが難しいため、負担のかかる同僚職員に正規職員であれば1日5000円、パートは3000円を支給し、部署内で2人育児休業者が出た場合はその倍額を支払うようにしています。どちらも期間の上限は3カ月間ですが、これに伴い、当法人で初めての、男性による育児取得者が出ました。期間は1カ月弱ほどでしたが、法人からの給与補償もあつたことで、育児スキルと仕事への意欲も向上したという声があり、既に他の男性職員でも取得予定者がいます。

育児から復帰する際には短時間勤務制度も設けており、こちらを利用しながら第4子の産休に入った職員もいます。宿直担当の職員であれば、復帰直後は宿直に入らないようにするなどの配慮もしています。法人では保育園も経営していますが、そこ子どもを預けて働くことも可能です。預け入れをしている職員も多く、園のスタッフが出産して、自分の子どもを見ながら働いている例もあります。

資格取得のバックアップで 未経験者にも問口を

この業界は専門職で、資格を取得していなければ働けないと思われがちですが、やる気のある方への可能性を広げ、職員の人材育成を図るべく、資格取得のバックアップ体制も整えています。保育士や看護師など色んな資格が必要になつてきま

すが、取得のための休暇や金額はすべて補填しています。また、取得に2年の期間を要する社会福祉士であれば、4年制の大学を卒業して専門学校に2年間の通学が必要ですが、2週間ほどのスクーリングもすべて出張扱いにしています。さらに、これを体験した職員が同じ職場の職員に研修会という形でフィードバックする機会をつくることで、毎年1〜2名は資格取得希望者が出ています。無資格でも制度を利用して国家資格を取得した職員もいます。取得者にはお祝い金を出しますし、昇給もあるので、モチベーションのアップにもつながることを期待しています。

20代、30代の活躍を応援

定年後の再就職にも積極的に応じており、50代、60代のカムバック就職も歓迎しています。今後の課題としては、管理職の年齢層が高いので、これから20代、30代の若い管理職を増やしていきたいです。そんなと子育てとの両立や、今後は介護における問題も発生してくるでしょうから、対応できる制度を整えていかなければなりません。

当法人は1946年の創業以来、地域の方に支えられてきましたが、庄内町出身に限らず遠方からわざわざ働きに来てくれる職員も増えてきました。何をやるにもマンパワーがないとできないので、人材の確保、育成に務められるよう邁進していきます。

【取組内容】

- ◆ 定年後の再雇用にも積極的に応じています。また、カムバック就職も大歓迎しています。
- ◆ 豊かな自然に囲まれる中、利用者さんや職員が明るく楽しく健康に生活することのできる職場づくりを目指します。
- ◆ 休日や勤務形態にも配慮し、職場と家庭生活に充実感を持てる法人を目指しています。



男性初の育児を取得したデイサービス職員